

授業科目 社会福祉学研究特論Ⅱ（制度・政策研究）	科目概要・形式 2単位 30時間	配当年次 1年 前期
科目責任者	石田賢哉	
担当者	大山博史、坂下智恵、石田賢哉、工藤英明	
1. 科目のねらい・目標 <ul style="list-style-type: none"> ・国や自治体が保有している社会福祉に関する情報・データを用いた社会福祉政策・制度の評価手法の基礎を学習する。社会福祉政策や制度の評価手法を学ぶことを通して、制度・政策研究に必要な研究手法及び制度・政策研究の基礎を学ぶ。 ・ディスカッション等を通して社会福祉各領域における政策課題についての検討をおこなう。 ・受講生が提示した制度・政策課題等について、随時、議論する。 		
2. 授業計画・内容 第1回目 日本の社会福祉政策について総論（社会福祉政策の基本を学習）（1） 第2回目 日本の社会福祉政策について総論（歴史的視点を学ぶ）（2） 第3回目 日本の社会福祉政策について総論（社会福祉政策研究の基本的視点を学ぶ）（3） 第4回目 日本の社会福祉政策—障害者福祉政策（自治体レベル）（1） 第5回目 日本の社会福祉政策—障害者福祉政策（国レベル）（2） 第6回目 日本の社会福祉政策—障害者福祉政策（国際比較）（3） 第7回目 日本の社会福祉政策—精神保健福祉政策（自治体レベル）（1） 第8回目 日本の社会福祉政策—精神保健福祉政策（国レベル）（2） 第9回目 日本の社会福祉政策—精神保健福祉政策（国際比較）（3） 第10回目 日本の社会福祉政策—高齢者福祉政策（自治体レベル）（1） 第11回目 日本の社会福祉政策—高齢者福祉政策（国レベル）（2） 第12回目 日本の社会福祉政策—高齢者福祉政策（国際比較）（3） 第13回目 日本の社会福祉政策—児童福祉政策（自治体レベル）（1） 第14回目 日本の社会福祉政策—児童福祉政策（国レベル）（2） 第15回目 日本の社会福祉政策—児童福祉政策（国際比較）（3）		
3. 教科書、参考書 特に使用せず。 授業開講時に参考書等を紹介する。		
4. 成績評価方法 レポート 70 % 出席状況 30 % により評価する		
5. 受講要件 なし		
6. 社会人学生に対する配慮 夜間開講科目		
7. その他 受講生の関心のあるテーマをとりあげていきたい。		